

令和8年度 始良・伊佐地区研究協力校「道德教育」

伊佐市立菱刈中学校道德教育研修会

1 菱刈中学校が本時の授業で目指す生徒の姿

自ら考え、表現する生徒

他者の考えを尊重し、協働して課題を解決できる生徒

2 全体会

全体会では、菱刈中学校でこれまで取り組んできた共通実践の内容と、研究授業の授業説明がありました。「生徒が主体的・対話的な活動を通し、『自分の考え』を広げる」ための共通実践事項として、評価の視点から生徒に考えさせたい価値を明確にすること、心情理解を深め、理由付けができるような手立てを工夫すること、そして、自分事として捉えるための指導法を改善することが示されました。

また、今後は、考えを学級内で共有する中で、他者の考えを尊重する態度を育てるとともに、授業での「振り返り」につなげていくことも含め、実践を進めていることが紹介されました。



【全体会の様子】

3 公開授業

(1) 第1学年 教材名 「私の『ふつう』と、あなたの『ふつう』」

1年生では、前田智大教諭が「正義と公正を重んじ、差別や偏見のない社会の実現」について考える授業を行いました。ペアやグループで話し合い、多様な意見を交換しながら自分の考えを深めました。特に、「ふつう」の捉え方の違いについて意見が活発に交わされ、互いの考えを尊重する姿が印象的でした。終末では、学びを振り返る時間を設け、新たな気づきや自分の思いをまとめていました。



【1年生の研究授業の様子】

(2) 第3学年 教材名「好きな仕事か安定かでなやんでいる」

3年生では、山之内佳代教諭が「働きがいのある仕事を考える」というテーマで授業を行いました。生徒は「好きな仕事か安定した仕事か」という問いをもとにペアやグループで意見を交換し、多様な視点から「働くことで大切にしたいこと」や「これからの生き方」について考えを深めました。特に、自分自身の価値観と社会の期待をどう調和させるかについて活発な対話がありました。終末では、振り返りの時間の中で、自分の考えや友達と話したこと、気付いたこと等についてまとめていました。



【3年生の研究授業の様子】

4 分科会

分科会では、1年生と3年生に分かれて、授業研究・研究協議を行いました。

3年生の授業研究では、本時で目指す生徒像に迫るための手立てとして取り入れた『自分ごと』として考えさせる導入、『正解のない問い』の設定に着目して授業中の生徒の姿を基に意見交換を行いました。

研究協議では、地区及び菱刈中学校の研究主題である『考え、議論する道徳』に向けた授業の在り方をテーマに、各学校の取組や授業における工夫等について、グループで意見交換を行いました。



【授業研究・研究協議の様子】

5 参加者の感想

授業研究・研究協議で出された意見の主な内容及び研修会を終えての参加者からの感想は、以下のとおりです。

(1) 1年生

【研修会を終えての参加者の感想】

- 道徳の授業作りについて改めて考えるきっかけとなりました。問いと問いへの過程にこだわって研究を続けていきたいと思いました。
- 中心発問に対して細かく具体的に発問で考えていて、よく考えられた指導過程だと思いました。書く活動が難しい子への手立てはとても難しいと思いました。
- グループ協議では、議題に沿って深く、有意義な話し合いをすることができました。授業では、ICTを中心とした授業で、参考にしたい部分が多くありました。道徳の研究に向けて、今日学んだことを生かして試行錯誤を重ねながら授業研究をしていきたい。
- シンキングツールを使う授業はとても参考になり、切り返しの発問も学ぶことが多かったです。今後の自分の授業に活かしたい。

(2) 3年生

【研修会を終えての参加者の感想】

- 教材と生徒、生徒同士、教師と生徒、生徒自身といった、多くの対話により、生徒が自分の考えを広げ、深めていた姿が見られました。私自身、道徳の授業で悩んでいたため、対話の重要性や教具の工夫について学ぶことができ、非常に勉強になりました。この学びを今後の道徳の授業に活かしていきたいと思います。
- 意欲的に取り組む姿勢が見られて良かったです。生徒を意欲的にさせる先生の技術が素晴らしいと思いました。
- 職場体験先でのインタビューや、シンキングツールやグラフを使った自分の考えの可視化など、事前の準備が丁寧に行われていました。そのことで、子供たちは興味をもって授業に取り組み、グループの話し合い活動で、生徒個人の考えが広がっていました。
- 活発な意見が出されていました。グループでの意見共有時に使用されていた、司会カードがうまく機能しており、1人の意見に対して相互に様々なアドバイスが出ていたのので、参考にさせていただきたい。